

2020 年度第 23 回研究力伸張セミナー 英語論文セミナー2020【2】オンライン講座（英語） アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、英語論文セミナー2020【2】において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 英語論文セミナー2020【2】当日受講者全員
- 3)調査方法 英語論文セミナー2020【2】終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2020年9月16日(水)～10月2日(金)

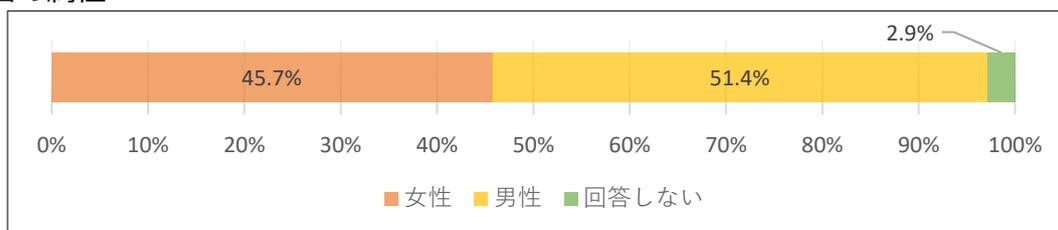
■ アンケート集計結果

回答数 対象者 74名、回答者 35名
回答率 47.3%

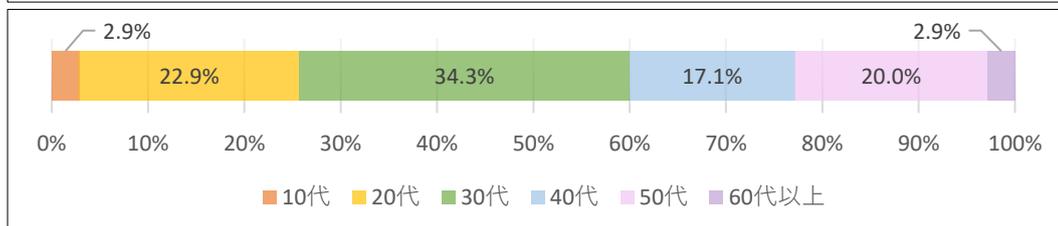
■ アンケート調査結果

問. 回答者の属性

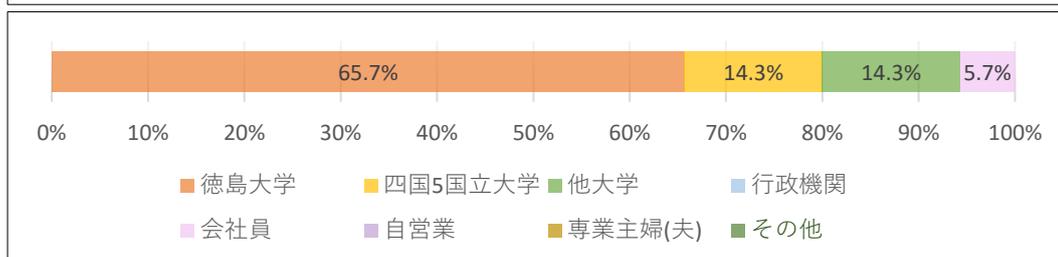
◆ 性別



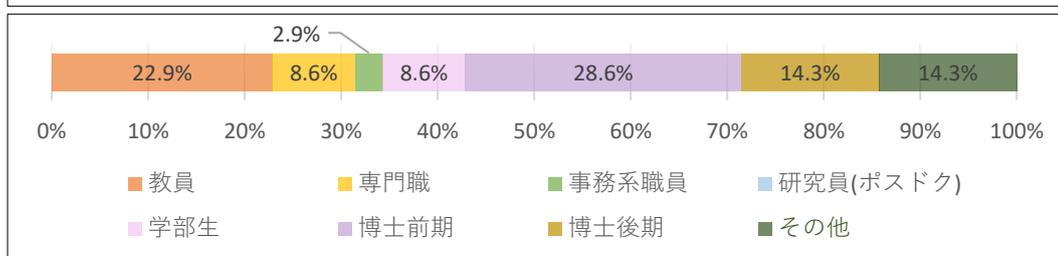
◆ 年齢



◆ 所属

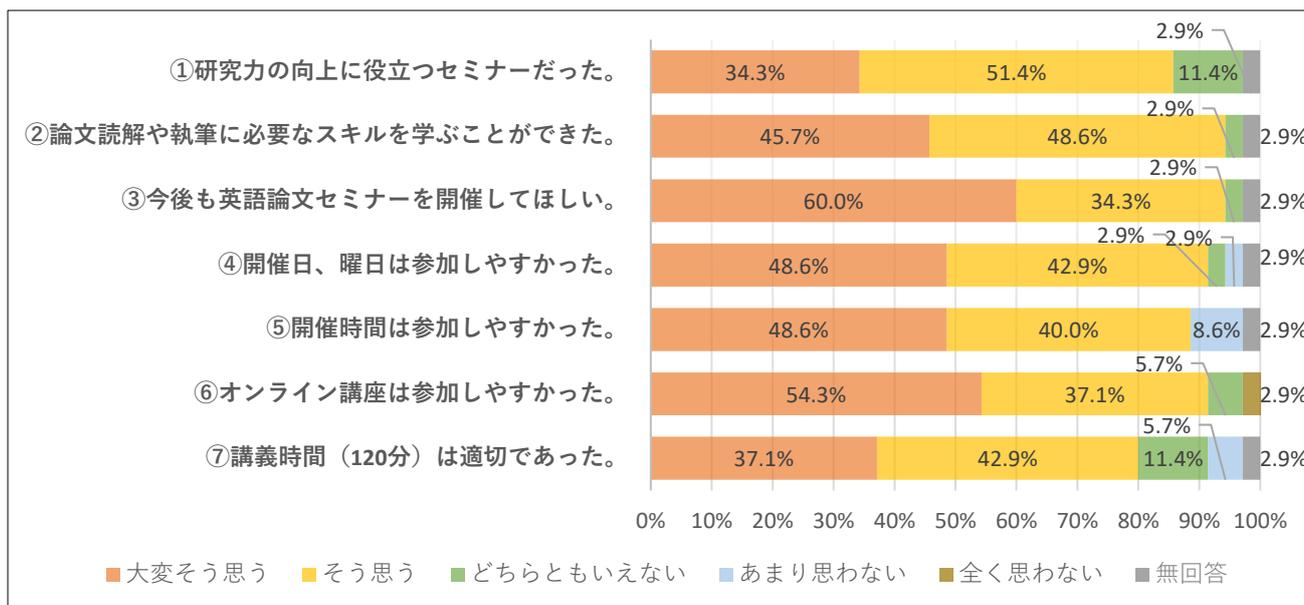


◆ 職種



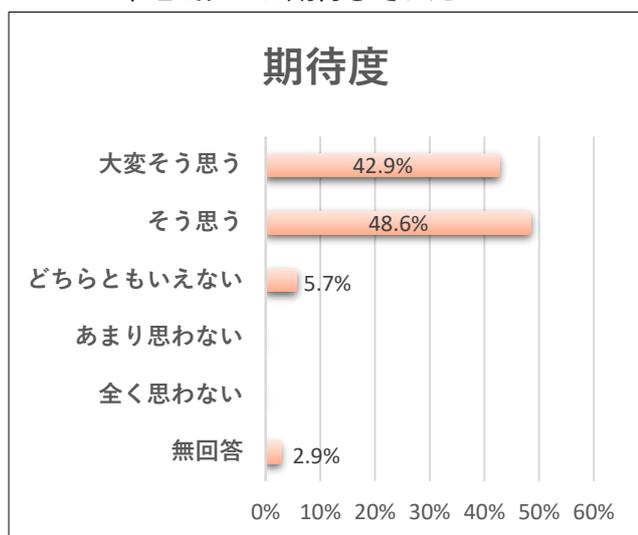
回答者の性別では、女性が45.7%で男性が51.4%であった。
年齢は10代～30代が60.0%で、40代以上が40.0%であった。
所属は、徳島大学が65.7%で、他機関等の学外からは34.3%であった。
職種は、博士前期が28.6%と最も多く、次いで教員が22.9%であった。

問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

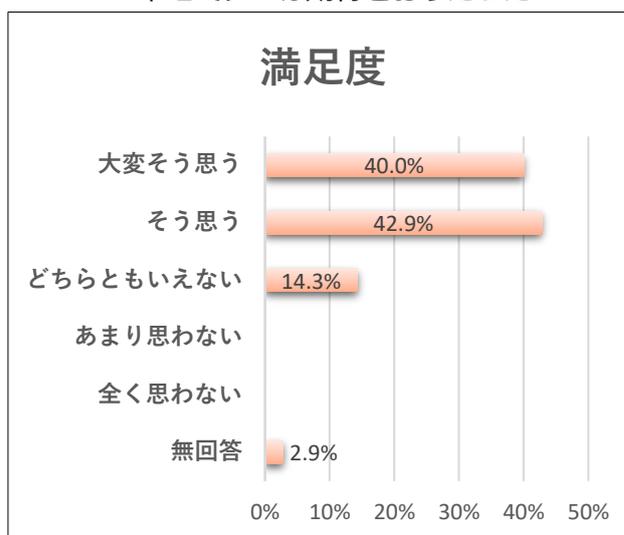


『研究力の向上に役立つセミナーだった』に対して 85.7%、『論文読解や執筆に必要なスキルを学ぶことができた』に対して、94.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、有意義なセミナーとなった。また、『今後も英語論文セミナーを開催してほしい』に対しては、94.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズが非常に高いことがわかった。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』91.5%、『開催時間』88.6%、『講義時間(120分)は適切であった』80.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、参加しやすい形式であったとうかがえる。また、今年度より新たに取り入れた『オンライン講座』形式については、91.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、どこからでも参加できるというメリットがあるためか、高い評価を得た。

・本セミナーに期待していた

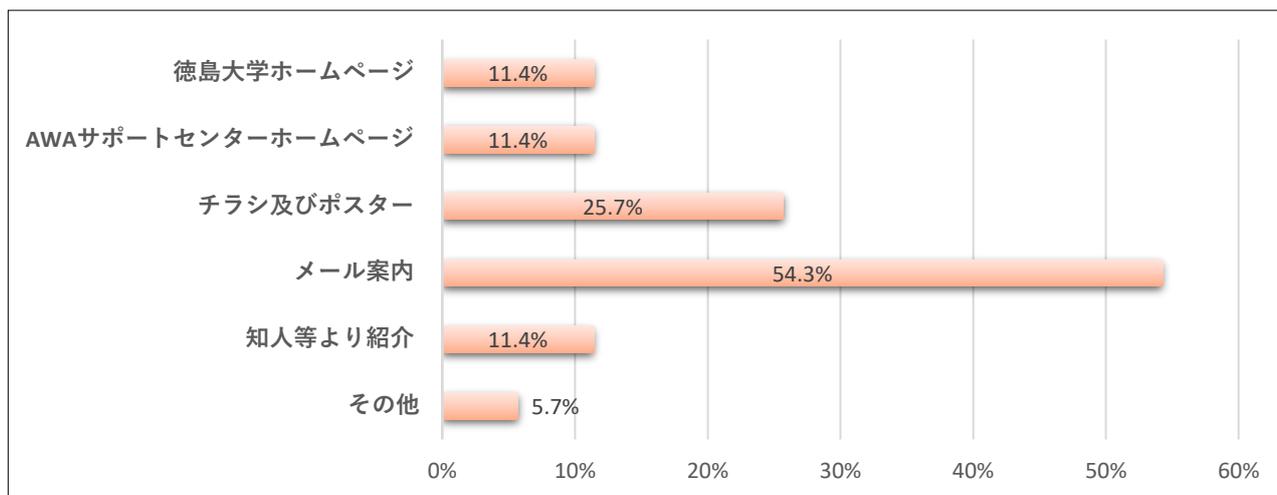


・本セミナーは期待どおりだった



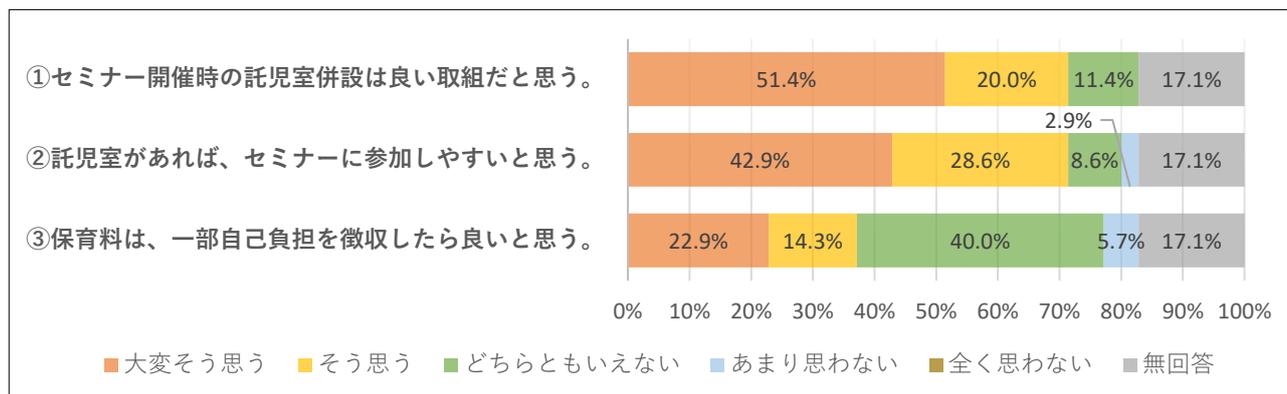
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、91.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、82.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は 4.3 点、満足度は 4.2 点であり、期待度、満足度ともに高かった。

問. 英語論文セミナー2020【2】の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『メール案内』が 54.3%と最も高く、次いで『チラシ及びポスター』が 25.7%であった。

問. 託児室（夕方または土日祝祭日開催時）を併設したセミナーの開催についてお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、71.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、71.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね、セミナーに参加するための有用な取組との見解が高いことがわかった。

一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、37.2%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、40.0%が『どちらともいえない』、5.7%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。